

目的

外部人材の活用を検討しているが、地域での受入機運が高まらず活用が進まない市町村を支援するため、市町村と連携して地域住民を対象に集落支援員及び地域おこし協力隊の制度概要や活用事例を学ぶ機会を設けることで、地域の意思決定を後押しする。

事業内容

(1) 事業主体 : 市町村

(2) 事業概要

市町村が外部人材を活用する地域の掘り起こしに取り組む際に、県が委託する事業者が地域住民を対象に集落支援員や地域おこし協力隊の制度概要を説明するとともに、活用事例を紹介する。

※説明内容等は市町村の実情に合わせて柔軟に調整可能

<想定する機会>

- 区長会、区長研修会
- 小学校区単位の勉強会
- 市町村が外部人材の導入を検討している地域向けの説明会 等

(3) 採択数 : 5市町村程度（勉強会等の回数は予算の範囲内で委託先と要相談）

(4) その他 : 参加地域が外部人材の受け入れに向けて「地域の担い手創出支援事業補助金」を申請する場合は優先的に採択する。

スケジュール（予定）

4月下旬～5月下旬 募集

6月上旬～2月末 支援先決定、支援実施

(参考) 外部人材の活用により地域が変化した例

| 区分 | 地域名 | 事例の内容 | 地域の変化等 |
|---------------------|----------------------|---|---|
| 集落支援員 | 真人・岩沢・東山地区 (小千谷市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3地域の住民センターに配置 ○ 福祉団体、地域づくり団体など様々な地域団体の事務局的な役割 ○ 地域の維持に向け、人口調査・住民アンケートの実施、県ビレッジプランの計画策定支援や住民活動（コミバス、除雪支援など）の推進役 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の地域団体の事務局的な役割を担うことで、団体の活動が継続できている ○ 住民活動を下支えすることで、活動が維持されており、地域の前向きな姿勢につながっている |
| 地域おこし協力隊 | 鼓岡・大長谷地域 (胎内市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ H27に集落アンケートやワークショップを実施し、地域づくりの方向性を決定 ○ H28から12名の隊員が活動（コミュニティ型のみ計上） ○ 地域全体（15集落）の連携・交流促進を重視し、県ビレッジプランや農村RMOに取り組んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 集落が地域存続のための試行錯誤を長期にわたって継続できている ○ 15集落の連携として「やまあいの小さなお祭」を継続している |
| 集落支援員 + 地域おこし協力隊 | 福山新田 (魚沼市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ H26からこれまでに5人の地域おこし協力隊を受け入れ、4名が同集落又は近隣集落に定住 ○ 最初の隊員着任後、集落支援員が住民と協力隊の間に入って活動のコーディネートとサポートを実施 ○ 協力隊はプレーヤー、支援員はサポーターとして活躍している | <ul style="list-style-type: none"> ○ 集落の水田60haのうち約半分を移住者が担っている。 ○ 協力隊卒業生が、地域の副区長や多面的機能支払いの代表を担うなど、地域の担い手として活躍している |